

★ ★ ★ 受講生募集 ★ ★ ★

介護実務者研修科②



幅広い利用者に対する基本的な介護技術を有し、福祉用具に係る助言・提案ができる人材を育成します。



介護関連施設でも役立つ、一般的なパソコン操作スキルの習得を目指します。

＜募集案内＞

資格取得目標	介護福祉士実務者研修修了 / Word 文書処理技能認定試験 3 級 (サーティファイ)
カリキュラム	※詳細は裏面をご覧ください。
訓練期間	令和 3 年 9 月 6 日 (月) ~ 令和 4 年 3 月 4 日 (金) 【6 か月間】
訓練時間	9 時 1 0 分 ~ 1 6 時 1 0 分
訓練施設	<p>ディスプレイカレッジ青森校 住所：青森市中央 3 - 2 0 - 2 6 電話：0 1 7 - 7 1 8 - 1 5 4 1 駐車場：月額 3, 0 0 0 円 (税込) * 台数に限りがあり、遠方の方が優先となります。</p>
定員	2 0 名
受講料	無料
自己負担額	<p>◇テキスト代: 約 1 3, 9 0 0 円 ◇検定料: Word 3 級 5, 9 0 0 円 (任意) ◇職業訓練生総合保険: 4, 8 0 0 円 / 6 か月 (施設実習があるため加入必須です。) ◇施設実習前に健康診断が必要ですが、詳細は訓練初日のオリエンテーション時に説明しますので、事前に行う必要はありません。実費負担となり金額は実施機関により異なります。</p>



対象者	ハローワークに求職申込みを行い、ハローワークの受講指示・受講推薦・支援指示のいずれかを受けた方。
応募書類	受講申込書・IT スキルチェック (各ハローワーク・ハローワークヤングプラザに備え付けてあります。)
応募先	各ハローワーク・ハローワークヤングプラザ
募集期間	令和 3 年 7 月 7 日 (水) ~ 令和 3 年 8 月 1 8 日 (水)
選考方法	訓練の必要性等を総合的に勘案し書類選考します。
選考結果	本人あてに郵送により通知します。【令和 3 年 8 月 2 6 日 (木) 発送予定】



お申し込み お問い合わせ	ハローワーク青森	0 1 7 - 7 7 6 - 1 5 6 1
	ハローワーク弘前	0 1 7 2 - 3 8 - 8 6 0 9
	ハローワーク野辺地	0 1 7 5 - 6 4 - 8 6 0 9
	ハローワーク五所川原	0 1 7 3 - 3 4 - 3 1 7 1
	ハローワーク黒石	0 1 7 2 - 5 3 - 8 6 0 9
	ハローワークヤングプラザ	0 1 7 - 7 7 4 - 0 2 2 0

※本訓練は、受講希望者の応募状況等により実施されない場合がありますので予めご了承ください。

実施主体	青森県立青森高等技術専門学校 青森市大字野尻字今田 4 3 - 1 0 1 7 - 7 3 8 - 5 7 2 7
------	---

訓練カリキュラム

コース区分	知識等習得		訓練科名	介護実務者研修科②	定員	20名	
訓練期間	令和 3 年 9 月 6 日 ～ 令和 4 年 3 月 4 日						
想定就業先	介護関連施設、医療機関等における介護職員						
訓練目標	介護利用者に対する基本的な介護技術及び福祉用具に係る知識を習得し、在宅・施設問わず介護関連業務を行う能力を養成。あわせて、一般的なパソコン操作スキルも習得する。						
仕上がり像	幅広い利用者に対する基本的な介護技術を有し、福祉用具に係る助言・提案ができ、介護関連施設における一般的なパソコン操作、入力作業を行うことができる人材						
資格取得	取得を目指す資格	介護福祉士実務者研修修了、Word文書処理技能認定試験3級(任意受験)					
	取得可能な資格	介護福祉士実務者研修修了、Word文書処理技能認定試験3級(任意受験)					
学 科	科 目		科目の内容			時 間	
	普通 学 科	1	ガイダンス	開講式、閉講式、オリエンテーション			30
		2	就職支援	履歴書の作成、自己PR、キャリアコンサルティング等			
		小 計			30		
	専 門 学 科	1	職業能力基礎講習	自己理解、仕事理解、職業意識、職場内のコミュニケーション、聴き方・話し方、ビジネスマナー			6
		2	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立			6
		3	社会の理解 I	介護保険制度			6
		4	社会の理解 II	社会と生活のしくみ、地域共生社会の実現に向けた制度や施策、社会保障制度、障害者総合支援法、介護実践に関する諸制度			36
		5	介護の基本 I	介護福祉士の役割と機能、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理			12
		6	介護の基本 II	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護従事者の安全			24
		7	コミュニケーション技術	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション			24
		8	介護過程 I	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ			24
		9	介護過程 II	利用者の状態（障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等）について事例を設定し、介護過程の展開、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察			30
		10	介護過程 III	介護過程の展開の実際（多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに、知識・技術を総合的に活用した分析力・応用力を評価する）			30
		11	こころとからだのしくみ I	介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解（移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔）			24
		12	こころとからだのしくみ II-1	人間の心理、人体の構造と機能			48
		13	発達と老化の理解 I	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響			12
		14	発達と老化の理解 II	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点			24
		15	認知症の理解 I	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症や家族へのかかわり・支援の基本			12
		16	認知症の理解 II	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人への支援の実際			24
		17	障害の理解 I	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害のある人や家族へのかかわり支援の基本			12
		18	障害の理解 II	医学的側面から見た障害の理解、障害の特性に応じた支援の実際			24
		19	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）、経管栄養（基礎的知識・実施手順）			60
		20	修了評価	修了テスト			5
21		安全衛生	労働衛生管理、安全衛生			2	
小 計			445				
学 科 計			475				
実 技	1	生活支援技術 I	生活支援と ICF、ボディメカニクスの活用、生活支援技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）、環境整備、福祉用具の活用等の視点			24	
	2	生活支援技術 II	利用者の心身の状態に合わせた生活支援技術（環境整備、移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具等の活用）			38	
	3	介護過程 III	介護技術の評価（介護技術の原理原則の習得・実践とともに、知識・技術を総合的に活用した判断力、応用力を評価する）			24	
	4	こころとからだのしくみ II-2	身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護における観察・アセスメントのポイント、連携等の留意点（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、休息・睡眠、人生の最終段階のケア）			24	
	5	医療的ケア演習	喀痰吸引演習（口腔、鼻腔、気管カニューレ内部）、経管栄養演習（胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養）、救急蘇生法演習			18	
	6	企業実習	施設・居宅型実習、通所・小規模多機能型実習、訪問介護実習			24	
	7	パソコン基本操作	キーボード・マウスの基本操作、文字入力、ファイル管理、環境設定			12	
	8	ワープロソフト実習	基本操作、文字編集、書式設定、ビジネス文書作成、表作成、文書の保持・印刷、図・効果文字の挿入、資格試験対策			36	
実 技 計			200				
総 合 計			675				